

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

インフロニア・ホールディングス株式会社（証券コード:5076）

【新規】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的

前田建設工業株式会社（証券コード:ー）

【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A	→	A+
発行登録債予備格付	A	→	A+

■格付事由

発行体：インフロニア・ホールディングス株式会社

- (1) 21年10月1日付けで発足した純粋持株会社。前田建設工業、前田道路、前田製作所の3社による経営統合に伴い共同株式移転方式により設立された。当社と傘下の事業会社はグループの一体性が認められる。出資、人的関係、資金管理などの面で緊密な関係にあるほか、グループ内の重要事項については当社が決定権を有しており、事業会社に対するガバナンスが十分に効くものと考えられる。
- (2) 格付はグループ全体の信用力を反映し、長期発行体格付を「A+」、見通しは安定的とした。この判断には、①当社と事業会社との一体性が確認できたこと、②当社グループの事業基盤は良好であること、③当面、当社グループの損益・財務は堅調に推移する見込みであることを織り込んだ。今後は、中長期ビジョンで目指している新たな収益基盤の確立を進めることで、強固な事業基盤を構築できるか注目していく。
- (3) 当社グループの事業基盤は良好である。主要な事業会社は創業100年を超える準大手ゼネコンの前田建設工業、道路舗装業界売上高（連結）第2位の前田道路、コマツの総代理店の中で国内トップクラスの前田製作所であり、この3社は各事業領域で強みを持ち競争力も認められる。セグメント別にみても、建築、土木、舗装、インフラ運営、製造事業がそれぞれ安定的に利益を確保しており、収益源の分散化も図られている。
- (4) 当面、当社グループの業績は堅調に推移すると考えられる。前田建設工業および前田道路の手持工事高の水準は高く、今後も強みを活かした受注活動により、引き続き一定量の受注が見込まれる。財務構成についても健全性を維持するとみられる。株主還元を強化する方針だが、キャッシュフローの安定的な創出や前田道路の保有するキャッシュのグループ内での効率的な活用が見込まれる。

発行体：前田建設工業株式会社

- (1) 純粋持株会社であるインフロニアHDの完全子会社。中核事業会社に位置づけられる。インフロニアHDグループは一体性が認められることから、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。そのため、21年10月1日付けのインフロニアHDの設立と同時に当社の格付の見直しを行い、長期発行体格付を「A+」に1ノッチ上げ、見通しは安定的とした。
- (2) 引き続き、業績は堅調に推移するとみられる。建築、土木事業ともに手持工事量は多い。民間分野を中心に建築事業の競争が厳しくなっているが、安定顧客の獲得や設計施工案件への対応力強化を進めており、

今後も底堅い受注が見込まれる。土木事業は国土強靱化やインフラ老朽化への対応などの工事需要が生じており、中期的に安定した受注を確保する見通しである。さらにインフラ運営事業においても、新規案件への取り組みも進めており、同事業の拡大も見込まれる。

(担当) 窪田 幹也・下田 泰弘

■格付対象

発行体：インフロニア・ホールディングス株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

発行体：前田建設工業株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年7月28日	2023年7月28日	0.280%	A+
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年9月12日	2029年9月12日	0.310%	A+
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2019年9月12日	2024年9月12日	0.150%	A+
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年9月9日	2030年9月9日	0.480%	A+
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年9月9日	2025年9月9日	0.220%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	600億円	2020年8月4日から2年間	A+

